



栗原小だより

〒123-0843 足立区立西新井栄町 2-10-18

<https://www.adachi.ed.jp/adkuha/>

令和 6 年度

5月号

足立区立栗原小学校

校長 田中 泰徳

TEL 3887-6391

スイッチの切替

副校長 横山 謙悟

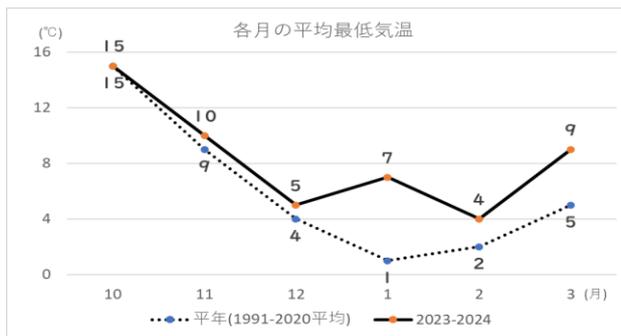
今年は、平年に比べると5日、昨年に比べると15日も東京の桜の開花は遅かったです。これは、今年の冬が暖かく、寒さによる「つぼみの目覚め(休眠打破)」が十分ではなかった可能性があるそうです。つぼみは、冬の厳しい寒さによって生長のスイッチが入らないと、生長が遅れる大きな原因となるようです。一度スイッチが入り暖かさが続くと、一気に生長が促されます。急に冷え込む日もありましたが、それを乗り越えて桜の花は見事に咲き誇りました。

新学級・新担任のもと、子供たちは、4月当初緊張して学校生活を送っていたことでしょう。1年生は、毎日が新しいことだらけで、まだ緊張しているお子さんもいます。新しい学習に不安になったり新しい友達ができたりして、子供たちはそれぞれにいろいろな思いをもっています。これを「替わってしまった…」と否定的に捉えず、自分にとっての「成長スイッチ」が切り替わったと考えることはできないでしょうか。

環境の変化を自分にとっての一つの節目として、スイッチを切り替えて生活を送ることは、新たな環境に順応する力も身に付きます。この力は、義務教育を超えて、社会に出てからも必要な力です。自分の思うようにならない状況であっても、その状況に責任を転嫁することなく、そこでいかに生活していくかを考えることができる児童の育成を図っていきます。

委員長発表集会

4月19日の朝、委員長発表集会が行われました。バトンを受け継いだ新6年生が、委員長として各委員会の仕事内容などを発表しました。よりよい栗原小学校になるよう、頑張ってください。



この冬はたしかに暖かった…

桜のつぼみが目覚めないほど、この冬は暖かったのでしょうか。気になったので、気象庁のホームページを見てみました。平年に比べてあまり冷え込んでいないことが分かります。

*気象庁ホームページより横山作成(2024)

1年生を迎える会

この日を待ち望んでいた1年生の子供たち。花のアーチを6年生と手をつないで笑顔いっぱいにくぐりました。「1年生の紹介」では、呼名されたら元気に「はい」と返事することに挑戦しました。大勢の前で返事をするのは緊張したかもしれませんが、どの子も一生懸命に頑張っていました。「1年生からの言葉」では、みんなで気持ちをそろえて挨拶をしました。2年生からは「パッチンガエル」などのプレゼントをもらい、みんな大喜びでした。栗原小学校の一員になった1年生。周りの人に励ましをいただきながら、大きく成長する姿を見守っていただきたいです。

1年担任